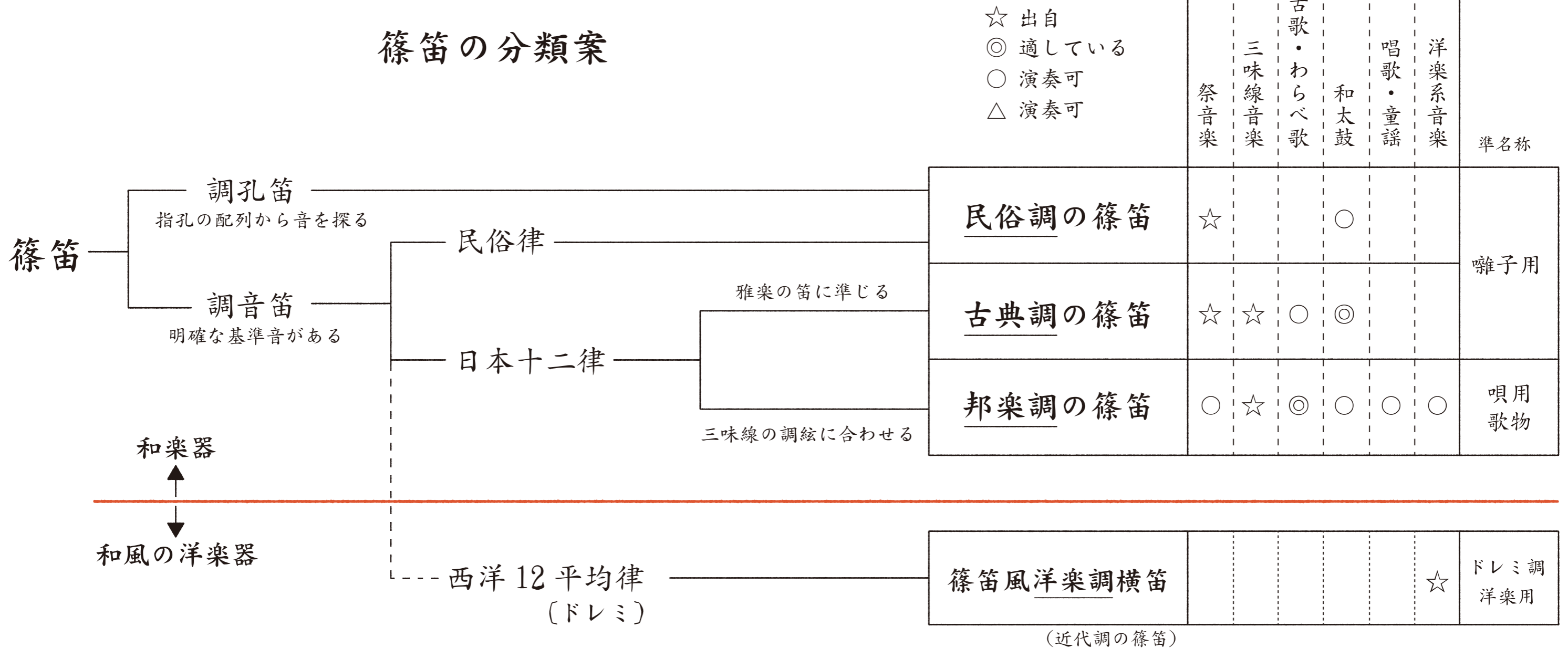


篠笛の分類案



● 「民俗調」「邦楽調」の用語は、篠笛の歴史文化に基づいた森田玲による造語である。

篠笛文化研究社 令和二年 

★ 近年「ドレミの笛」が流行しているが「西洋 12 平均律に基づく音曲を演奏するために作られた、西洋 12 平均律で調律された竹の横笛」を篠笛とは呼びがたい（和楽器の洋式化が進んだ近代に名前を借りて「近代調の篠笛」と呼べる可能性は残る）。

- 初心者、祭（民俗芸能）、学校の音楽教育、外国への紹介の際には「洋楽調（ドレミ）」ではなく、「邦楽調（唄用）」「古典調」の篠笛の選択が必須。
- 「ドレミの笛」を「唄用」と呼ぶのは間違い（唄用は既存の名称）。
- 「ドレミの笛」を「歌物」「唄物」と呼ぶ事例も散見されるが、「唄用」との類似表現であり誤解を招く。また、「うたもの」という言葉も既存の日本音楽の用語であるから避けるべきである。